

高等学校 令和6年度（1学年用）教科 情報 科目 情報 I

教科： 情報 科目： 情報 I 単位数： 単位
 対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組
 教科担当者：
 使用教科書：（最新情報 I（実教出版））

教科 情報 の目標： 情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
 【知識及び技能】 情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見し、情報社会と人との関わりについての理解を深めるように
 【思考力、判断力、表現力等】 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報を適切かつ効果的に活用する力
 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目 情報 I の目標： 情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 単元 【知識及び技能】 情報社会の現状について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 情報の特性について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 情報のモラルと情報化が個人に及ぼす影響について理解する。	・授業の受け方、アンケート ・コンピュータの起動や終了方法を習得する。 ・情報社会と私たち 1 情報社会	【知識・技能】 ・コンピュータを起動し、目的とするアプリケーションを開くことができる。 【思考・判断・表現】 ・アプリケーションで作成したファイルを保存することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・PC教室のルールを理解している。	○	○	○	5
	B 単元 【知識及び技能】 知的財産権について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 他人の著作物を適切に利用したりする方法を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 個人情報について理解する。	・2 情報社会の法規と権利 1 知的財産 2 情報の利用と公開 3 個人情報保護と管理 ワープロソフトを活用した実習 Word入力のいろいろ	【知識・技能】 ・ファイルを共有フォルダに保存することができる。 【思考・判断・表現】 ・情報社会と人間との関わりについて考え、理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・インターネット等で調べられる。	○	○	○	9
	C 単元 【知識及び技能】 メディアの発達について知る。 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じたメディアを選択する。 【学びに向かう力、人間性等】 コミュニケーションの形態には違いがあることを理解する。	メディアとコミュニケーション 1 情報社会 1 メディアの発達 2 メディアの特性 3 コミュニケーションの形態 情報リテラシー「Word」	【知識・技能】 ・伝達する情報に応じて情報メディアを選択して表現することができる。 【思考・判断・表現】 ・メディアを用いてコミュニケーションを図ったりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々なメディアを分類することができる。	○	○	○	8
	D 単元 【知識及び技能】 情報デザインについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 情報を正確に、わかりやすく伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 報告書を作成するための手順について理解する。	情報デザイン 1 社会の中の情報デザイン 2 情報デザインの工夫 情報リテラシー「Word」	【知識・技能】 ・ユーザインタフェースを改善できる。 【思考・判断・表現】 ・目的に沿って、情報を視覚化したり配色を考えて表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文字や図、表やグラフなどを工夫して表現する学習活動を自ら進んで行える。	○	○	○	7
	定期考査				○	○	
2 学期	A 単元 【知識及び技能】 コンピュータについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ソフトウェアの種類を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 アナログとデジタルの違いについて理解する。	情報システムの構成 1 コンピュータの構成と動作 2 ソフトウェアとインターフェイス 情報のデジタル化 1 アナログとデジタル 2 2進数と情報量	【知識・技能】 ・ソフトウェアを説明することができる。 【思考・判断・表現】 ・情報機器を相互に接続するために、インタフェースを選択することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・コンピュータを構成する装置とその性能について、自分で調べようとしている。				6
	B 単元 【知識及び技能】 音声のデジタル化を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 静止画や動画をデジタルで表現する方法について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 情報のデータ量について理解する。	情報のデジタル化 6 音声の表現 7 静止画と動画の表現 8 情報のデータ量 情報通信ネットワーク 1 ネットワークの構成 情報リテラシー「Excel」	【知識・技能】 ・音声のデータ量を計算できる。 【思考・判断・表現】 ・静止画や動画等のデータ量を計算できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数値・文字・音声・画像などのデジタル化された情報を取り扱おうとしている。	○	○	○	8
	C 単元 【知識及び技能】 安全対策について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 情報セキュリティを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 情報を安全に取り扱うための技術について理解する。	情報セキュリティ 1 脅威に対する安全対策 2 情報セキュリティの確保 3 安全のための情報技術 情報リテラシー「Excel」	【知識・技能】 ・コンピュータウイルスなど、被害の実態について理解している。 【思考・判断・表現】 ・情報セキュリティポリシーの必要性を感じている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・パスワードを設定することができる。	○	○	○	8
	D 単元 【知識及び技能】 問題解決の手順について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 問題の発見の方法について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 問題を明確化する方法について理解する。	問題解決とその方法 1 問題解決 情報リテラシー「Excel」	【知識・技能】 ・問題の解決案を検討するために必要な情報を収集・整理できる。 【思考・判断・表現】 ・評価の方法について理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に問題解決に取り組む貢献しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査				○	○	
A 単元 【知識及び技能】	問題解決とその方法 2 データの活用	【知識・技能】 ・表計算ソフトを用いて適切にデータの並べ					

3 学 期	<p>データを収集について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 表計算ソフトの活用方法を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 データを適切なグラフや図に表現する。</p>	<p>プレゼンテーションソフトを 活用 した実習 PowerPoint</p>	<p>替えや抽出などができる。 【思考・判断・表現】 ・表計算ソフトを用いてデータをグラフ化することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題解決の目的に応じて、表現できる。</p>	○	○	○	4	
	<p>B 単元 【知識及び技能】 プログラムの表現方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 プログラミング言語を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 関数を使用したプログラムを作成する。</p>	<p>プログラミングの方法 マクロの作成 マクロの記録 を用いて、マクロを作成</p>	<p>【知識・技能】 ・関数を使用し、簡単なプログラムを作成することができる。 【思考・判断・表現】 ・簡単なアルゴリズムを文章やフローチャート等の図で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・プログラミングの手順を理解している。</p>	○	○	○	5	
							合計	70